



石見銀山基金事業報告会

と き：平成25年6月1日（土）13時00分～

ところ：仁万まちづくりセンター2階集会室

（仁摩公民館）

NPO法人石見銀山協働会議

■平成24年度分石見銀山基金事業報告会タイムスケジュール

グループ		説明 順番	報告案件	申請団体	報告予定時間
認定 事業	石見銀山を守る活動	1	クリーン銀山・鞆ヶ浦	馬路地区 社会福祉協議会	13:10～ 14:10
		2	保全、美化活動	大森町自治会協議会	
		3	世界遺産 温泉津地区 コアゾーン保全整備	NPO 法人 まち・ゆめ応援団	
	石見銀山を伝える活動	4	石見銀山学習	大田市内 小・中学校	
		5	「ホイアン日本祭」 公演旅行事前研修	土江子ども神楽団	
休憩（10分）					
審査 事業	石見銀山を活かす活動	6	石見銀山 世界遺産を守る 森づくり グリーンボ ランティアツアー	NPO 法人 緑と水の連絡会議	14:20～ 16:10
	石見銀山を究める活動	7	石見銀とその関連資料 の調査研究	石見銀山の 非文字史料を知る会	
		8	石見銀山の古木調査	石見銀山の 景観を考える会	
	石見銀山を伝える活動	9	石見銀山の地面の下を 探ろう	石見銀山地質研究会	
		10	2012 石見銀山三日籠り	NPO 法人しまね歴史 文化ネットワーク もくもく	
		11	2012年銀の道を歩く ～尾道から大阪へ～	石見銀山ガイドの会	
		12	世界遺産登録5周年記念 ～石見銀山とポルトガルの ゆかりを訪ねる集い～	石見銀山と ポルトガルを結ぶ会	
		13	世界遺産・石見銀山伝	石見銀山の魅力を 伝え、活かす会	
		14	石見銀山の動植物を知り、 伝える	石見銀山とり・ むし・はなの研究会	

■石見銀山基金事業 認定事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を守る活動	馬路地区 社会福祉協議会 (1次募集)	6月初旬に銀の積出港である鞆ヶ浦と銀山街道鞆ヶ浦道の一部の草刈り・ゴミ拾いを行う。それにより、環境美化が期待できる。 【事業費 98,620円／補助金額 98,000円】
	大森町 自治会協議会 (2次募集)	春と秋に県道仁摩・邑南線・町並み・銀山川・宮の前の草刈り・ゴミ拾いや、2月頃に大森町内の樹木の剪定を行う。それにより、来訪者を気持ち良く受け入れ、環境美化の意識が高まる景観保全につながることで期待できる。また、子ども一緒に参加するので、次世代へ引き継ぐ活動となる。 【事業費 101,286円／補助金額 100,000円】
	NPO 法人 まち・ゆめ応援団 (2次募集)	8月から11月頃にくし山城跡付近や沖泊港付近の漂着物処理及び草刈りと石見銀山街道温泉津地区の保全整備を行う。 それにより、世界遺産の価値感を高めより多くの観光客に良いイメージを与え地域団体と協力することで住民の世界遺産への理解・意識向上が期待できる。 【事業費 104,400円／補助金額 100,000円】
石見銀山を伝える活動	大田市内小・中学校 (1次募集)	大田市内の22校の小・中学校が石見銀山を訪れ体験活動を通して学習する。それにより、郷土への誇りと愛着の醸成が期待できる。 【事業費(合計) 1,216,909円／補助金額(合計) 1,216,909円】
	土江こども神楽団 (1次募集)	事前研修を行い、ベトナムのホイアン市で開催されるホイアン日本祭にて、世界遺産の視察、市民との意見交換会をする。それにより、世界遺産の価値や世界共通の財産だという認識を深め、守り、活かす担い手となる人材づくりが期待できる。 【事業費 157,762円／補助金額 157,762円】

【MEMO】

■石見銀山基金事業 審査事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を活かす活動	NPO 法人 緑と水の連絡会議 (1次募集)	ツアーを組みボランティアによる竹刈り、ツアー参加者への石見銀山ガイドンスを行う。それにより、景観向上、石見銀山のファンを増やすことで期待できる。 【事業費 967,680 円／補助金額 609,000 円】
石見銀山を 究める活動	石見銀山の非文字 史料を知る会 (1次募集)	山口・近畿等の石州銀の類例調査を行い、データ化する。それにより、石見銀山の調査研究が多角的に進められ、博物館での展覧会資料としての活用が期待できる。 【事業費 211,569 円／補助金額 136,000 円】
	石見銀山の景観を 考える会 (1次募集)	文化的景観を保全するための学術的調査研究と保全方針に関しての提言を目的とした古木調査やシンポジウムを行う。それにより、樹木の保全対策や基礎調査としてのデータベースができ、ガイドの説明題材としても活用が期待できる。 【事業費 942,060 円／補助金額 583,000 円】
石見銀山を 伝える活動	石見銀山地質研究会 (1次募集)	仙ノ山が属する大江高山火山群や島根全体の地質を知る。それにより、産業再生や知的観光資源としての開発につながる。また、県内各地の地形や地層への関心を生み、後世に対しても自然環境を守る、育てる活動へつながることが期待できる。 【事業費 346,463 円／補助金額 230,000 円】
	NPO 法人しまね 歴史文化ネットワーク もくもく (1次募集)	石見銀山の歴史、生活・文化、遺跡調査などに関する講座や現地踏査などのフィールドワーク、UIターン促進につながる生活体験を組み合わせた3泊4日の講座を開催。それにより、石見銀山の価値を学んだ人達が全国に石見銀山を発信してくれることが期待できる。 【事業費 1,691,354 円／補助金額 500,000 円】
	石見銀山ガイドの会 (2次募集)	宇津戸から大阪までバス・徒歩・船で行き、大阪の銀座があった長堀橋付近を終点とする事業を行う。それにより、世界遺産「石見銀山」に対する関心を高めてもらい、理解を深め、再度訪問してもらえるような地域活性化へつながっていくと期待できる。 【事業費 652,865 円／補助金額 435,000 円】
	石見銀山とポルトガル を結ぶ会 (2次募集)	石見銀山とポルトガルのゆかりを訪ねる集いを開催する。三部構成で基調講演、パネルディスカッション、記念コンサート(ポルトガル伝統音楽の演奏)を行う。それにより、世界につながる石見銀山の魅力を体感し、石見銀山に対して新たな視点をもてることに期待できる。 【事業費 672,515 円／補助金額 448,000 円】
	石見銀山の魅力を 伝え、活かす会 (2次募集)	石見銀山遺跡に縁のある市人会などの東京在住者や地元の有志、石見銀山に関する演目を有する大屋神楽、市内事業者などが集まり、丸ビルにて世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」のPRを行う。それにより、世界遺産・石見銀山について東京で知ってもらえ、様々な相乗効果が見られ、石見銀山に縁の市民、出身者のアイデンティティの確立にも期待できる。 【事業費 736,260 円／補助金額 490,000 円】
	石見銀山とりむし・ はなの研究会 (2次募集)	世界遺産石見銀山のエリアにおける動植物分布調査と普及・広報活動をする。それにより、動植物の宝庫である環境を来訪者や次の世代に伝えられ、また地域住民も価値を再認識する機会にもなり、伝え方を工夫すれば観光資源としても期待できる。 【事業費 104,239 円／補助金額 69,000 円】